



2020年11月9日

各 位

会 社 名 ENEOSホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大田 勝幸
コード番号 5020 東証・名証第1部
問合せ先 財務IR部IRグループマネージャー
井上 亮
(電話番号 03-6257-7075)

当社子会社によるカセロネス銅鉱山の全権益取得について

当社子会社のJX金属株式会社（本社：東京都港区虎ノ門二丁目、社長：村山誠一、以下「JX金属」）は、カセロネス銅鉱山の共同出資者である三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区大崎一丁目、社長：西田計治、以下「三井金属」）及び三井物産株式会社（本社：東京都千代田区大手町一丁目、社長：安永竜夫、以下「三井物産」）から、両社保有の全てのカセロネス銅鉱山権益（三井金属：25.87%、三井物産22.63%）を譲り受けることについて、本日、基本合意いたしましたので、お知らせいたします。

1. 経緯と背景

JX金属と三井金属は、2006年にJX金属と三井金属の合併会社であるパンパシフィック・銅・カッパー株式会社（2020年4月にニッポン・カセロネス・リソーシズ株式会社に移管）による権益取得以来、カセロネス銅鉱山の開発を進め、2010年の三井物産の参画以降は、3社共同で事業運営を行ってまいりました。建設の遅れや建設費の増など困難があったものの、現在までに生産は安定化し、収益性が確保できる状況となったため、今後、さらなる生産量増大に向けた新たな段階に入ろうとしております。

このような状況を踏まえ、今後の方針について3社で協議をする中で、三井金属は他事業への経営資源投入を優先することとし、三井物産は金属資源事業ポートフォリオを見直すこととしたため、今後は、JX金属がカセロネス銅鉱山の経営を担うこととし、三井金属、三井物産両社の権益をJX金属が買い受けることについて協議を進めておりましたところ、本日合意に達し、権益譲渡に関する合意書を締結致しました。

2. 今後の方針

カセロネス銅鉱山の銅精鉱は当社グループ製錬所の有力な原料であり、世界的に精鉱中の銅品位が低下し、不純物が高まる傾向にある中、高品位でクリーンなカセロネス銅の価値が高まっています。このような優良な銅精鉱の確保は、上流の原料鉱石から下流の先端素材までの、リサイクルも含めた金属のサプライチェーンの中で中核となる銅製錬事業にとって極めて重要と考えております。

今後は、優良鉱石を産出するカセロネス銅鉱山において、策定済の計画に沿って、IoTを活用した自動化の推進などの投資を進めるとともに、相当量の埋蔵鉱量が見込める同鉱山周辺領域における探鉱活動などを一層強化し、生産量の維持・拡大、山命の延長などに取り組んでまいります。

3. 業績への影響

本件による2021年3月期の通期業績への影響については、現在精査中であり、開示すべき事項が生じた場合は、速やかに公表いたします。

以上

<JX金属株式会社の概要>

(1) 名称	JX金属株式会社	
(2) 所在地	東京都港区虎ノ門二丁目10番4号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 村山 誠一	
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・非鉄金属資源の開発・採掘 ・非鉄金属製品(銅、金、銀等)の製造・販売 ・電解・圧延銅箔の製造・販売 ・薄膜材料(ターゲット材、表面処理剤、化合物半導体材料等)の製造・販売 ・精密圧延品の製造・販売 ・精密加工品の製造・販売 ・非鉄金属リサイクルおよび産業廃棄物処理 他 	
(5) 資本金	750億円	
(6) 設立年月日	2002年9月27日	
(7) 純資産	339,427百万円(2020年3月31日現在)	
(8) 総資産	543,743百万円(2020年3月31日現在)	
(9) 大株主および持株比率	ENEOSホールディングス株式会社 100%	
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	ENEOSホールディングス株式会社 100%出資
	人的関係	役員の兼任 有
	取引関係	経営管理・債務保証

<カセロネス銅鉱山の概要>

権益取得時期	2006年5月				
権益取得額	137百万ドル				
開発投資額	約42億ドル(生産設備等初期投資額)				
マインライフ	28年間(2013年～2040年)				
総生産量 (28年間)	銅:355万トン(銅精鉱314万トン、SX-EW電気銅41万トン)、 モリブデン:8万7千トン				
生産開始時期	2013年3月 SX-EW電気銅生産開始 2014年5月 銅精鉱生産開始				
生産計画		当初10年間	28年平均	28年合計	
	銅	精鉱(銅量)	15万トン/年	11万トン/年	314万トン
		SX-EW電気銅	3万トン/年	1万トン/年	41万トン
		合計	18万トン/年	12万トン/年	355万トン
		モリブデン	3千トン/年	3千トン/年	87千トン
2019年度生産実績	銅精鉱12.6万トン、電気銅2.6万トン				